

中部電力との「スマートシティビジョン」の策定について

2024/10/1

背景・経緯

3月に包括連携協定を締結し、スマートシティへの転換を目指した取り組みを開始。

協定式資料より抜粋

包括連携協定の目的

桑名市と中部電力は、それぞれが社会的な役割と使命を持って取り組む姿勢に共感し、**公民連携で互いの「強み」を掛け合わせて「スマートシティ」の実現を目指す**こととしました。

これにより、桑名をフィールドとして、社会の変革や地域がもつ個性に対応するためのノウハウを蓄積し、**市民生活のWell-Beingを高めると共に、先進的なモデルとして中部地域の持続的な成長に寄与すること**が本協定の目的です。

	桑名市		中部電力
社会的な役割・使命	・市民生活のWell-Beingの向上	共感 ＝	・地域・社会の持続的な発展に貢献
強み	・市民からの信託 ・地域ネットワーク ・行政サービスの提供 ・行政データ ・オープンフィールド(公共空間・資源)	× 連携	・地域のお客さまとのつながり ・民間企業ネットワーク ・エネルギー、生活サービスの提供 ・電力データ、生活サービスデータ ・インフラ施設の運営ノウハウ

中部地域を元気に！

背景・経緯

「脱炭素」「データ利活用」「魅力あるまちづくり」を重点領域として、スマートシティへの転換を目指す。

目指す姿（イメージ図）

協定式資料より抜粋

データでつながる便利でスマートなまちづくり

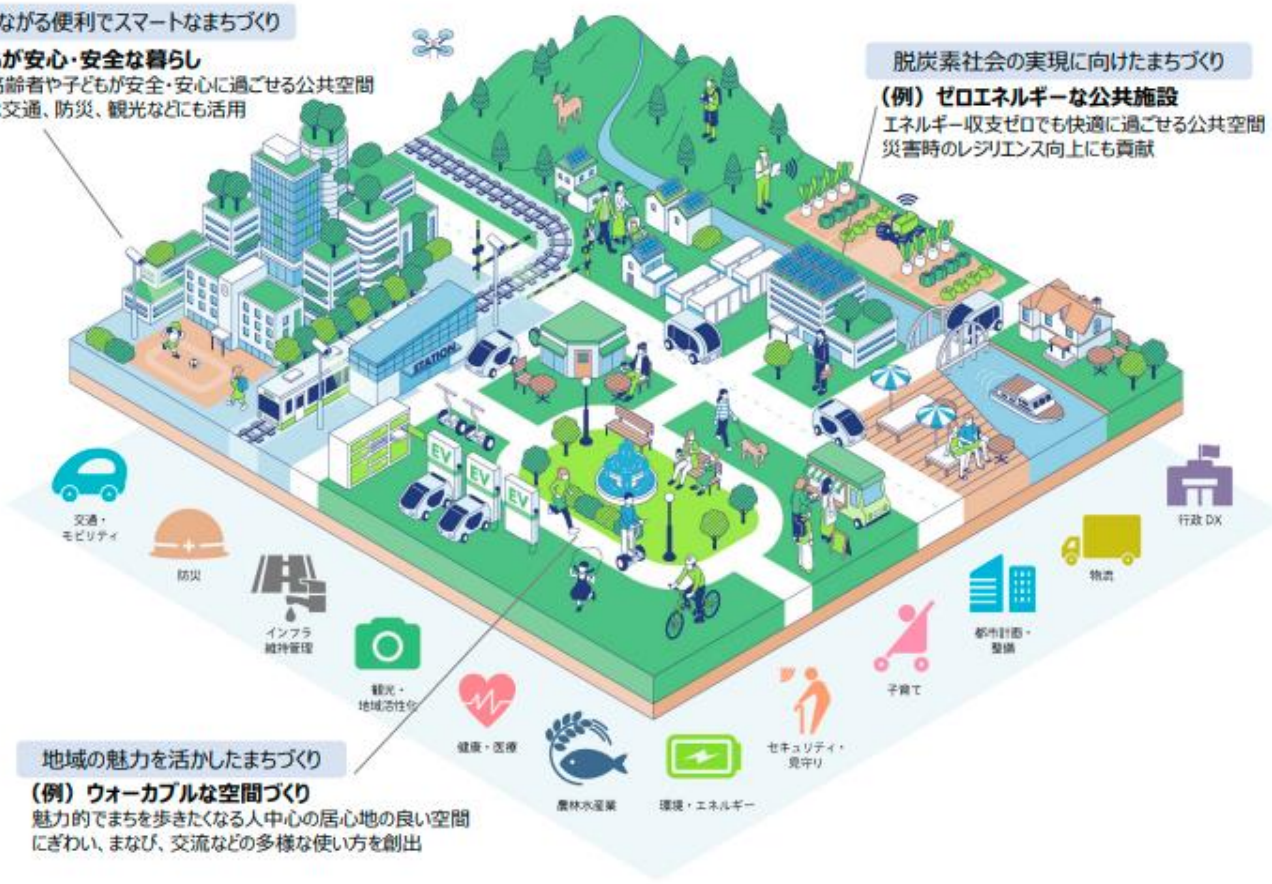
（例）誰もが安心・安全な暮らし

AIカメラで高齢者や子どもが安全・安心に過ごせる公共空間
解析結果は交通、防災、観光などにも活用

脱炭素社会の実現に向けたまちづくり

（例）ゼロエネルギーな公共施設

エネルギー収支ゼロでも快適に過ごせる公共空間
災害時のレジリエンス向上にも貢献



地域の魅力を活かしたまちづくり

（例）ウォーカブルな空間づくり

魅力的でまちを歩きたくなる人中心の居心地の良い空間
にぎわい、まなび、交流などの多様な使い方を創出

重点領域

まずは両者の強みを活かした分野から取り組みを開始するとともに、スマートシティの基盤となるプラットフォームの構築を進めていきます。

地域の魅力を活かした
まちづくり

脱炭素社会の実現に向けた
まちづくり

データでつながる便利でスマートな
まちづくり



重点領域から取り組みを開始し、分野横断的に展開を拡大していきます。

目指す姿

地域の魅力を活かしたまちづくり



取り組みの方向性

1 地域の魅力の可視化

- ・ 桑名が持つ多様な魅力を、都市データや生活データなど様々な情報を用いた定量的な指標によって可視化します。
- ・ この可視化により、魅力を活かすための施策検討の土台を築きます。

2 魅力向上施策の立案・実施

- ・ 住む人、働く人、訪れる人それぞれの視点から“まち”の魅力を活かした施策を検討し、実行していきます。
- ・ 健康・福祉、交通、観光・商工などの魅力を高め、定量的指標で効果を測定し、地域の魅力向上を推進します。

3 さらに進化した取り組みの試行

- ・ 既存の施策に新しい技術やアイデアを取り入れさらに発展させつつ、様々な分野にも取り組みを展開していきます。
- ・ このことを通じて、地域の魅力を広くアピールし、地域経済の活性化と市民のWell-Beingの向上を図ります。

目指す姿

脱炭素社会の実現に向けたまちづくり

取り組みの方向性

1 脱炭素に関する啓蒙・教育

- ・ 脱炭素への取り組みは全員参加で進めていく必要性のある大きな社会課題であり、その意義・意味を広く関係者の方々へ理解いただくための活動を推進します。

2 地域企業との脱炭素推進

- ・ 産業が盛んな桑名市において、地域企業の脱炭素に向けた取り組みを支援します。
- ・ また、公民連携で脱炭素に取り組む「くわなIoT推進ラボ協議会」とも協調し、取り組みを推進します。

3 最新技術・事例の積極的な活用検討

- ・ 中長期の取り組みを前提に、最新の脱炭素関連技術や最新事例の適用を志向し、多様な関係者との共創をもって脱炭素社会の実現を推進します。

目指す姿

データでつながる便利でスマートなまちづくり



取り組みの方向性

1 市民サービスの利便性向上

- デジタル技術を活用し、市民の皆様にとって利便性が向上する取り組みを推進します。
- 同時に業務のデジタル化・効率化も進めることで、より快適な市民サービスの実現を目指します。

2 データを活用した政策の最適化

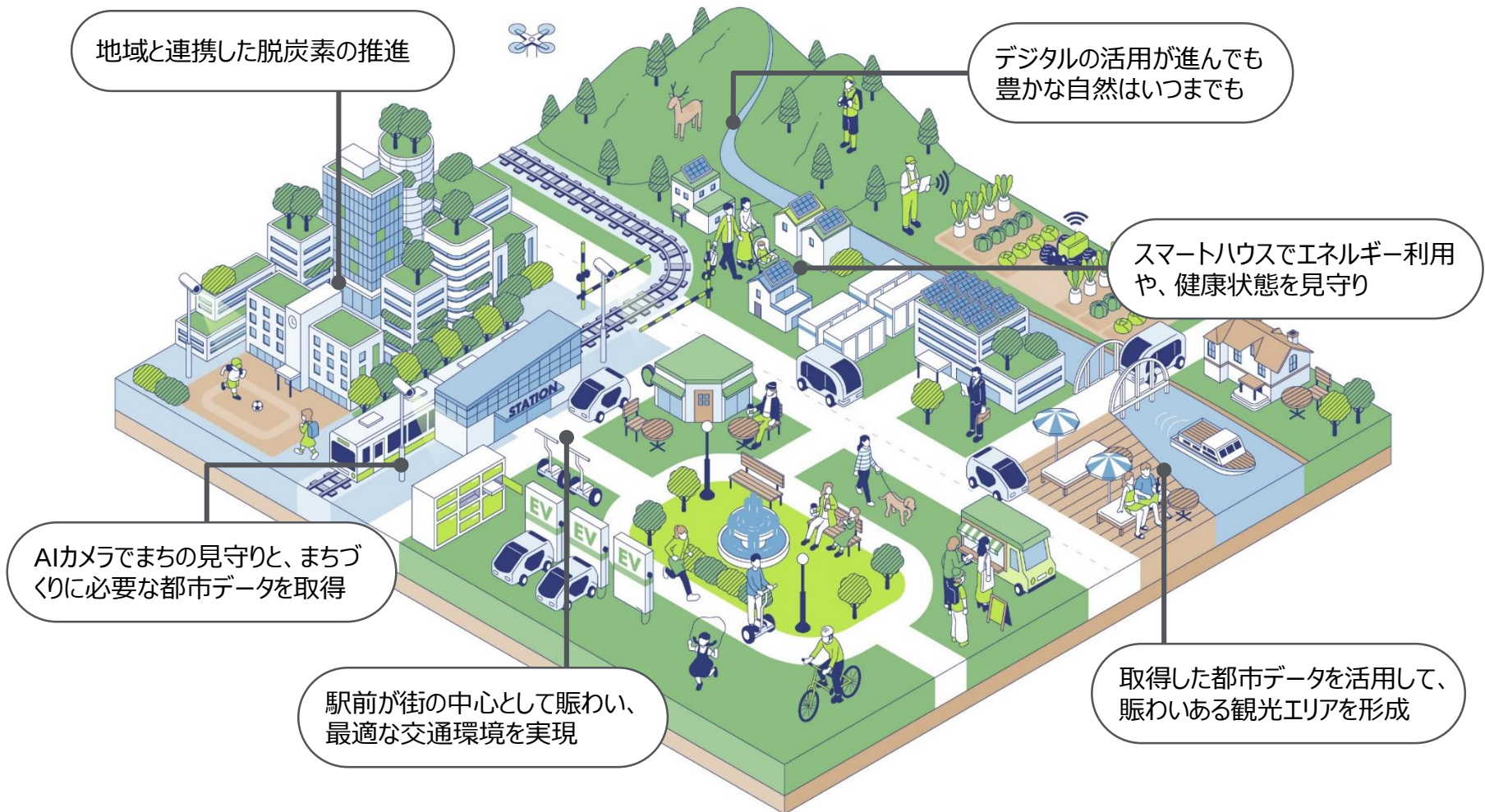
- 市民の皆様の声を聴きながらそこに定量的なデータ分析を組み合わせ、政策の精度と効果を高めていきます。
- そのために、都市運営に必要なデータを戦略的に増やしていくことで、より最適な行政施策の実現を目指します。

3 高度データ活用によるまちづくり

- 取得したまちのデータが、公民・各分野を横断してつながり、適切に利用・共創できる仕組みを構築することで、より住みやすい“まち”を実現していきます。

ビジョンで目指す姿

「ワクワク」なまち、くわな。(仮)



ビジョン付録資料

ビジョンの付録資料として、ビジョン策定にあたって行った先行的な取り組みをまとめた資料を作成予定。
(具体的には花火大会における人流データの取得や、若者の住みたい街についてのワークショップ)

参考：先行実証（AIカメラ）の進捗状況



人の流れの変化が今後予想される桑名駅で、AIカメラによる人流データ取得を下期より開始予定



①東口広場と②自由通路の2か所を設置場所として検討中。

取得データの活用イメージとして、「イベント時の賑わい（人流、デモグラフィ等）の計測」や、「西側ロータリー開設に伴う東西の利用の変化」を継続的にモニタリングすることで、暫定ロータリーの措置や、交通会社との公共交通のあり方の検討などにデータを利活用していくことを目指す。

①東口広場 AIカメラと分析端末を取付、広場の賑わいを計測



既設街路灯に取付
(将来、移設も検討)

横丁隣接の広場の人流（滞在時間、属性など）



②自由通路 既設の防犯カメラにAI解析端末を接続し計測を予定



既設の防犯カメラを使用予定
(要綱を改定を検討中)

東出口の人流計測
(西側は別途、推計値を算出予定)



桑名駅にAIカメラを設置し、駅前の人流をデータを計測。（当年度末まで実証継続）
その他に携帯GPSデータ、交通量データの取得を予定しており、データを掛け合わせた分析を実施予定。

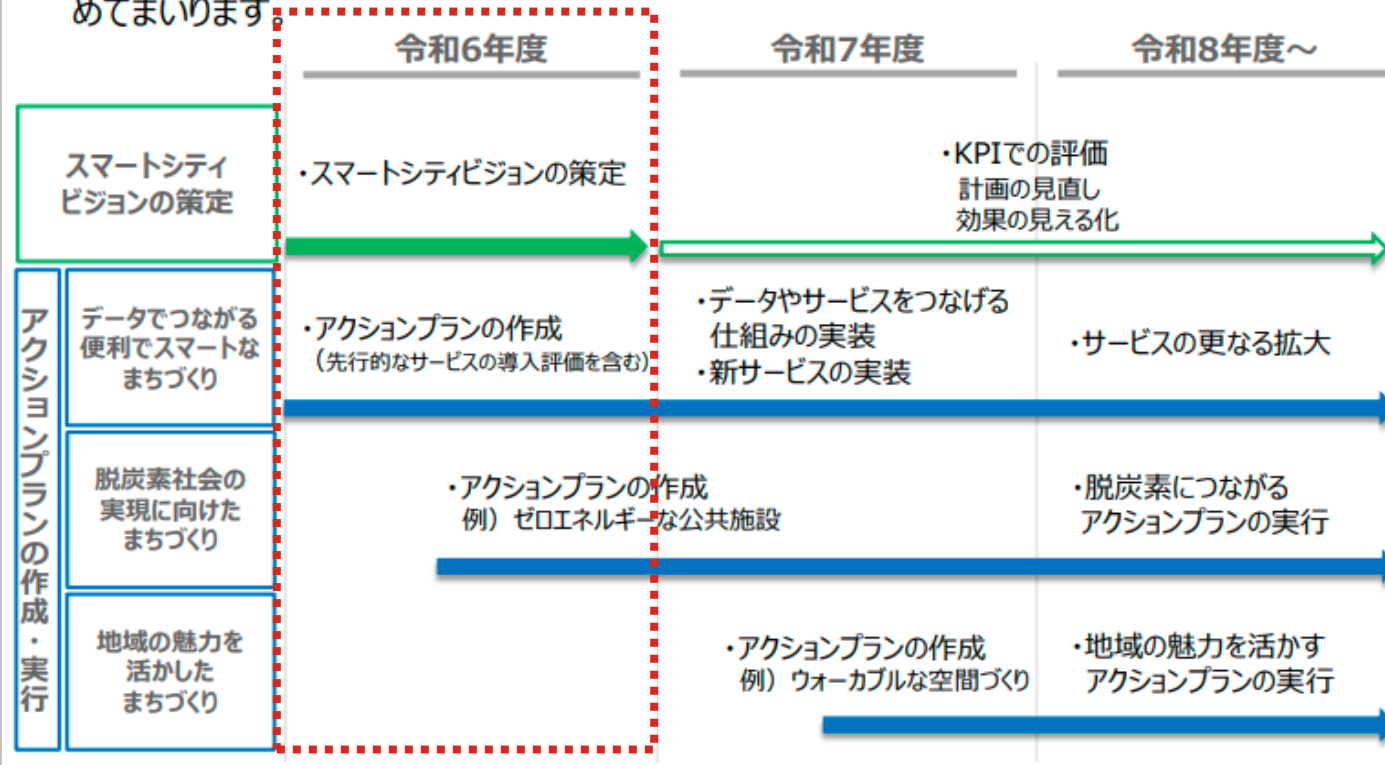
ロードマップ°

今年度は「ビジョンの策定」と「アクションプランの作成」を相互に人事交流を行ったうえで推進しており、ビジョンについては11月に公表を予定（詳細は次頁）

ロードマップ（案）

協定式資料より抜粋

本協定では、地域の課題やニーズ等をふまえて、桑名市のスマートシティビジョンの策定、アクションプランの作成、およびそれらに基づくまちづくり（アクションプランの実行）を進めてまいります。



スケジュール

ビジョンは11月に全員協議会にて議会報告の後に公開を予定。
以降も、ビジョン実現に向けてのアクションプランの実行を積極的に推進。

■ビジョン公表までのスケジュール

10月1日	部長会
10月中	ビジョンのブラッシュアップ等
11月上旬	全員協議会
11月上旬	ビジョン公表 ※全員協議会終了後

ビジョン公表後は、段階的にアクションを検討・推進していくことを予定しています。

すでに、具体的なアクションの相談をさせていただいている課もありますが、今後、内容によっては各課へもご相談をさせていただくことが出てくると思いますので、その際はご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。